



アブラナのおしべの6本のうち2本が短いのはなぜ

短いのが、この花の特ちょう

アブラナのおしべは6本あります。このうち4本が長く、のこり2本が短くなっています。アブラナの花は、「がく」が4枚、花びらが4枚あります。おしべも長いもの4本と短いもの4本あったのですが、短いほうの2本がなくなり、6本になったと考えられています。このような現象を「四強おしべ」といっています。アブラナ科の特ちょうとして覚えておいてください。

花の形ができるまで

おしべやめしべ、花びら(がくと花弁)の数・形・大きさなどは、植物ごとにそれぞれ遺伝的に決まっています。「四強おしべ」という現象も遺伝的に決まっているものです。花は、小さな花芽がだんだんとのびてつくれます。小さくてかたい花芽の中を開けて見ても、まだはっきりした形はしていません。しかし、だんだんと、花びら、めしべ、おしべといった形ができてきます。アブラナでは、2本のおしべだけが短くつくられていきます。

アブラナの花式図

花びら、おしべやめしべのつき方を表わした図を花式図といいます。アブラナの花式図をみると、短いおしべ2本は長いおしべ4本の外側から出ています。(監修・中山 周平)

